OMRON

CP シリーズ ファンクションブロック 活用ガイド

Modbus TCP サーバ

著作権・商標について スクリーンショットはマイクロソフトの許可を得て使用しています。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 本資料に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

■はじめに

本ガイドは、ファンクションブロックを使用した使用例を中心に記載しております。

実際のプログラムや装置において動作を保証するものではありません。装置の動作につきましては、必ず使用機種のユーザーズマニュアルをお取り寄せいただき、ご使用上の注意事項等ご使用の際に必要な内容をお読みいただき、十分に動作確認を行ったうえでご使用ください。

■対象となる読者の方々

本ガイドは、次の方を対象に記述しています。

電気の知識(電気工事士あるいは同等の知識)を有する方で

- •FA 機器の導入を担当される方
- ·FA システムを設計される方
- ·FA 現場を管理される方

■関連マニュアル

h el		
マニュアル名称	形式	Man.No.
SYSMAC CP シリーズ CP2E CPU ユニット	形 CP2E-E□□D□-□	SBCA-477
ユーザーズマニュアル ハードウェア編	形 CP2E-S□□D□-□	
	形 CP2E-N□□D□-□	
SYSMAC CP シリーズ CP2E CPU ユニット	形 CP2E-E□□D□-□	SBCA-478
ユーザーズマニュアル ソフトウェア編	形 CP2E-S□□D□-□	
	形 CP2E-N□□D□-□	
SYSMAC CP シリーズ CP1E/CP2E CPU ユニット	形 CP1E-E□□D□-□	SBCA-356
コマンドリファレンスマニュアル	形 CP1E-N□□D□-□	
	形 CP2E-E□□D□-□	
	形 CP2E-S□□D□-□	
	形 CP2E-N□□D□-□	
CX-ProgrammerVer.9.□	形 CXONE-AL□□D-V4	SBCA-337
オペレーションマニュアル		

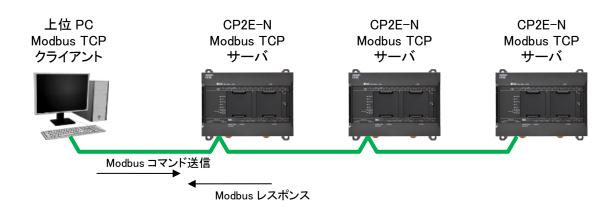
活用ガイド

1. Modbus TCP サーバ ファンクションブロック

内蔵 Ethernet ポートを使用して Modbus TCP サーバ機能を実現するファンクションブロックです。

1.1 概要

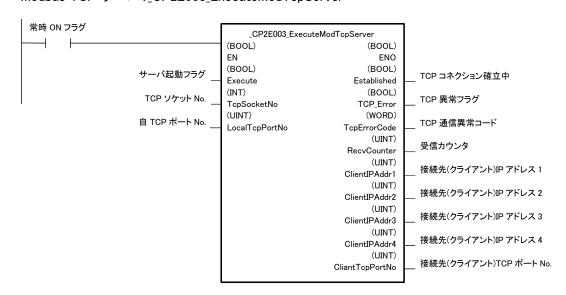
CP2E-N タイプの内蔵 Ethernet ポートのソケットサービス機能を使用して Modbus TCP サーバ機能を実現します。 上位 PC や上位 PLC の Modbus-TCP クライアントから CP2E の内部補助リレー、データメモリへのアクセスに対して自動でレスポンスを返します。ファンクションブロックを使用することで、送受信のプログラムを作成せずに、簡単に Modbus TCP サーバ機能を実現します。



1.2 使用するファンクションブロック

内蔵 Ethernet ポートへの Modbus コマンドに対して自動でレスポンスを返すファンクションブロックです。 サポートする Modbus ファンクション、メモリエリア割付など、ファンクションブロックの詳細は「ファンクションブロック機能説明」を参照してください。

Modbus TCP \forall -/ $\dot{\mathsf{N}}$:_CP2E003_ExecuteModTcpServer



対応する Modbus ファンクションは以下の通りです。

ファンクションコード	Modbus 名称	機能
01 Hex	Read Coils	内部補助リレー(W)の複数接点読出
03 Hex	Read Holding Registers	データメモリ(D)の複数チャネル読出
06 Hex	Write Single Register	データメモリ(D)のチャネル書込
0F Hex	Write Multiple Coils	内部補助リレー(W)の複数接点書込
10Hex	Write Multiple Registers	データメモリ(D)の複数チャネル書込

ファンクションブロック使用上の注意点

- 本 FB は内蔵 Ethernet のソケットサービス機能を使用して実現します。
 本 FB が使用する TCP/IP のコネクション数は 1 コネクションです。CP2E がサポートする TCP/IP ソケットは最大 3 コネクションのため、最大 3 つの FB まで使用可能です。
- 本 FB で使用するソケット No.、ソケット No.に対応する DM エリア、特殊補助リレー、ワークエリアを本 FB 外で使用しないでください。

ソケット No.	DM エリア割付	特殊補助リレー	ワークエリア
TCP ソケット No.1	D16000, D16004, D16008~D16017	A567、A571.00~07	D15000~D15149
TCP ソケット No.2	D16001, D16005, D16018~D16027	A568、A571.08~15	D15150~D15299
TCP ソケット No.3	D16002、D16006、D16028~D16037	A569、A572.00~07	D15300~D15449

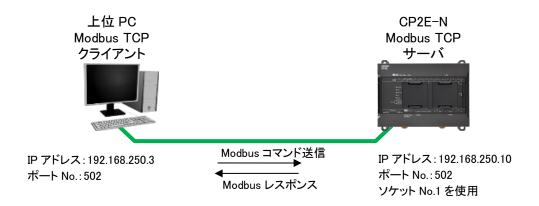
- ソケットサービスの Passive オープン/クローズ処理は必要ありません。(本 FB 内で行います)
- 接続先 IP アドレスは指定できません。自 TCP ポート No.で要求されるすべての TCP 接続要求を受け付けます。

2. 使用手順

Ethernet ポートで PC-CP2E 間を Modbus TCP プロトコルで接続してデータ交換します。

3. 使用例

上位 PC からの Modbus コマンドに対してレスポンスを返します。



3.1 配線例

Ethernet ケーブルで上位 PC と CP2E を接続します。

3.2 PLC システム設定例

①Ethernet の設定

CX-Programmer を起動します。

「内蔵 Ethernet」タブ

PLC システム設定の「内蔵 Ethernet」タブを選択します。

CP2E の IP アドレス、サブネットマスク、TCP/IP keep-alive を設定します。



「内蔵 Ethernet」タブの説明

設定項目	設定内容
IP アドレス	Ethernet ポートの自 IP アドレスを設定します。
サブネットマスク	Ethernet ユニットのサブネットマスクを設定します。
TCP/IP keep-alive	生存確認(keep-alive)監視時間を設定します。
	ここでは初期値 0 (120 分)のままとします。

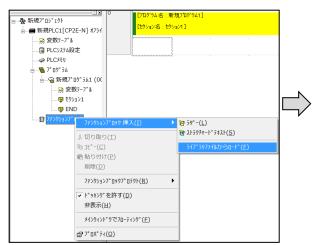
3.3 ラダープログラムの作成例

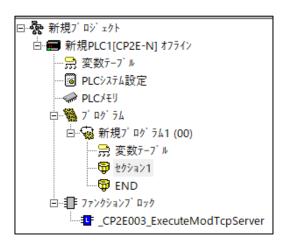
① ファンクションブロックの挿入

Modbus TCP サーバ _CP2E003_ExecuteModTcpServer ファンクションブロックファイルを事前に PC に保存しておきます。

CX-Programmer を使用し、[ファンクションプロック]→[ファンクションプロックの挿入]→[ライブラリファイルからロード]から、

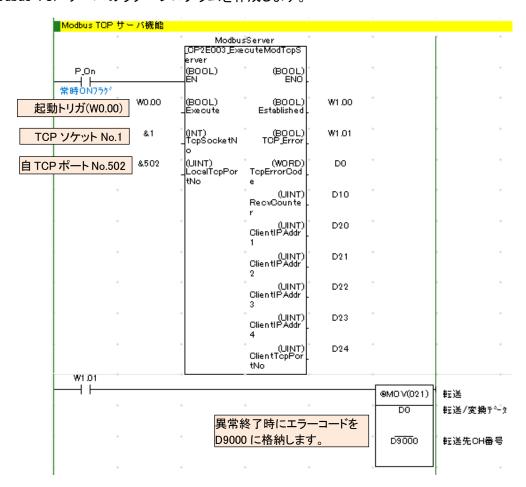
「_CP2E003_ExecuteModTcpServer.cxf」をロードします。





② ラダープログラムの作成

Modbus TCP サーバのラダープログラムを作成します。



- ・ TCP ソケット No.1 を使用して Modbus TCP サーバ機能を起動します。
- ・ W0.00(Execute)を ON にすると、自 TCP ポート No.502 を使用して TCP オープン(Passive) の状態になります。 上位 PC から TCP オープン(Active)を実行してください。
 - EN と「サーバ起動フラグ (Execute)」は同時に ON しないでください。同時に ON した場合 (例えば EN と Execute に P_On を入力する、同じ接点を入力するなど) は、Modbus TCP サーバは起動しません。
- ・上位 PC と CP2E 間の通信が確立すると、W1.00(Established)が ON し、Modbus コマンド受付状態になります。
- ・ クライアントの IP アドレスは D20~D23 (D20. D21. D22. D23)に、クライアント TCP ポート No.は D24 格納されます。
- ・ ソケット通信の異常時はエラーコードが D0 に格納されます。

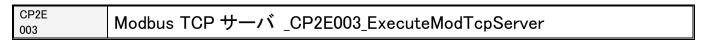
参考

サーバ起動フラグを OFF して Active クローズした場合後、120 秒間は同じポート No.では次のソケットオープンができません。120 秒以内にサーバ起動フラグを ON した場合、TCP 異常フラグ(TCP_Error)が ON して、TCP 通信異常コード(TcpErrorCode)に#2211 が格納されます。

■活用ガイド 改訂履歴

改訂記号	改訂年月日	改訂理由
Α	2019 年 10月 31日	初版

機能説明



機能概要	内蔵 Ethernet のソケット	サービス機能を使用し	て Modbus TCP サ-	 ーバ機能を実行します。		
シンボル			<u> </u>	in the Court of th		
-	常時 ON フラグ		D05000 5 L.M. JT C			
		(BOOL)	P2E003_ExecuteModTcpS	(BOOL)		
		EN		ENO		
	+	ナーバ起動フラグ 【(BOOL) Execute	1	(BOOL) Established TCP コネクション確.	立中	
		TCP ソケット No.		(BOOL) TCP 異常フラグ		
		TcpSocl	etNo	TCP_Error (WORD)		
	É	TCPポートNo. LocalTc	PortNo Top	ErrorCode TCP 通信異常コート	•	
			_	(UINT) 受信カウンタ		
			Re	(UINT)		
			Clie	entIPAddr1 接続先(クライアント)IP アドレス 1	
			Cli	(UINT) entIPAddr2 接続先(クライアント)IP アドレス 2	
			Olli	(UINT)) 1 × 0	
			Clie	entIPAddr3 接続先(クライアント)IP アトレス 3	
			Clie	(UINT) entIPAddr4 接続先(クライアント)IP アドレス 4	
				(UINT) Han Port No. 接続先(クライアント))TCD ポート No	
			Cliant	TcpPortNo Live in its	7101 71 1 110.	
ファイル名	_CP2E003_ExecuteModT	cpServer.cxf				
対象形式	CPU ユニット	CP2E-N				
	CX-Programmer	バージョン 9.72 以上				
使用言語	ラダー言語					
使用条件	■使用共通資源					
	・ソケットサービス DM					
	・ソケットサービス関連					
	・受信データ用ワークニ		1		_	
	ソケット No.	DM エリア割付	特殊補助リレー			
	TCP ソケット No.1	D16000, D16004 A567, A571.00~07 D15000~D15149				
	TODAY HALAN A	D16008~D16017	A500 A571 00	15 D15150 D15000		
	TCP ソケット No.2	D16001, D16005	A568、A571.08	~15 D15150~D15299		
	TCP ソケット No.3	D16018~D16027	A569、A572.00	~07 D15300~D15449	_	
	10-777110.3	D16028~D16037	A309, A372.00	207 D13300*2D13443		
		D10020D10031				
機能説明	- 「++ バお新フニガ/ロ	シュー・ナーン・ハウナートがい	で 作中にた「TOD、		OD ポート Na lを体	
1成 日と 記しいり		をオープン(Passive)し、		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	OF 小一F NO.]を使	
		Modbus TCP サーバ機				
		ixecute)」の立ち下がり				
		_		「(Established)」が ON します	•	
	コネクション確立時は	:「接続先(クライアント)	IP アドレス(ClientIP	'Addr)」に IP アドレスを、「招	接続先(クライアント)	
	TCP ポート No.(Clien	tTcpPortNo)」にポート	No.を格納します。			
	・通信異常時は「TCP	・通信異常時は「TCP 異常フラグ(TCP_Error」が ON して、「TCP 終了コード(TcpErrorCode)」に TCP ソケットサー				
	ビスの終了コードが格納されます。					
		信すると「受信カウンタ		加算されます。		
		とメモリの関係は以下の				
			・レスの割付、各コマ	?ンドの詳細は「■動作仕様	、コマンドレスポンス	
	詳細」を参照してくだ		1			
	ファンクションコート		機能	The second of th		
	01 Hex	Read Coils		助リレー(W)の複数接点読出		
	03 Hex	Read Holding Regi		(モリ(D)の複数チャネル読出		
	06 Hex	Write Single Regis		(モリ(D)のチャネル書込		
	0F Hex	Write Multiple Coil		内部補助リレー(W)の複数接点書込		
	10 Hex	Write Multiple Reg	isters データメ	(モリ(D)の複数チャネル書込	<u>\</u>	

FB 定義の種類	常時 ON 接続型						
FD 足我切性短	EN には常時 ON フラグ(P_On)を接続してください。						
	EN TIGRIA ON フラグ (P_ON)を接続してください。 内部で状態を保持するため、同じインスタンスを複数箇所で同時に使用することはできません。						
FB 使用上の注	・本 FB は内蔵 Ethernet のソケットサービス機能を使用して実現します。						
意点							
总 从	本 FB で使用するソケット No.、ソケット No.に対応する DM エリア、特殊補助リレー、ワークエリアを FB 外で使用						
	しないでください。 ・TOD フラクション状態、TOD ソケットフェークスけり下で変認可能です						
	・TCP コネクション状態、TCP ソケットステータスは以下で確認可能です。						
	ソケット No. TCP ソケットステータス TCP ソケットコネクション状態						
	TCP ソケット No.1 A567 D16004						
	TCP ソケット No.2 A568 D16005						
	TCP ソケット No.3 A569 D16006						
	・ソケットサービスの Passive オープン/クローズ処理は必要ありません。(本 FB 内で行います)						
	・接続先 IP アドレス、TCP ポート No.は指定できません。自 TCP ポート No.で要求されるすべての TCP 接続要求						
	を受け付けます。						
	・TCP コネクション状態がコネクション待ち(LISTEN)、コネクション確立 (ESTABLISHED)時に、ENO は ON します。						
	・サーバ起動フラグを OFF して Active クローズした場合後、120 秒間は同じポート No.では次のソケットオープン						
	ができません。120 秒以内にサーバ起動フラグを ON した場合、TCP 異常フラグ(TCP_Error)が ON して、TCP 通						
	信異常コード(TcpErrorCode)に#2211 が格納されます。						
EN の入力条件	常時 ON フラグ (P_On)を EN に接続させます。						
4 4 90	EN に任意接点を接続した場合は、接点の OFF により本 FB の出力は保持されます。						
制限事項	・EN への入力には常時 ON フラグ(P_On)を使用してください。						
入力変数	・EN と「サーバ起動フラグ (Execute)」は同時に ON しないでください。同時に ON した場合 (例えば EN と Execute						
	に P_On を入力する、同じ接点を入力するなど)は、Modbus TCP サーバを起動しません。						
	・入力変数の値が範囲外の場合、ENO は OFF になり、FB は実行しません。						
使用例	接点 A を ON すると、ソケット No.3 を使用して、TCP オープン(Passive)を実行し、コネクション確立後ソケット Modbus						
	TCP サーバ機能が動作します。						
	接点 A を OFF すると、Modbus TCP サーバ機能を停止し、ソケットサービスをクローズします。						
	クライアント Madius コマンボ サーバ						
	P アドレス: 196.35.32.55 Modbus コマンド ソケット No.: &3						
	TCP ポート No.: 502 ポート No.: 502						
	Modbus レスポンス						
	常時 ON フラグ CP2E003_ExecuteModTcoServer						
	(BOOL) (BOOL)						
	EN ENO						
	サーバ起動フラグ (BOOL) (BOOL) (TCP コネクション確立中フラグ Execute Established						
	TCP ソケット No. 43 TcpSocketNo TCP Error 接点 C						
	自 TCP ポート No. (UINT) (WORD) TOP 通信異常コード Local Top Port No Top Error Code Top Inc. T						
	(HINT) DU						
	RecvCounter D10						
	(UINT) 接続先(クライアント)IP アドレス 1 ClientIPAddr1 Page (24.22)						
	(LIINT) D20 (&196)						
	ClientIPAddr2						
	(UINT) 接続先(クライアント)IP アドレス 3						
	(HINT) D22 (832)						
	ClientIPAddr4						
	(UIN1) 接続先(クライアント)TCP ポート No.						
	D24 (&502)						
関連フェーマッ	 						
関連マニュアル	「CP2E ユーザーズマニュアル ソフトウェア編 15-5 ソケットサービス(SBCA-478)」						

■変数テーブル

【INPUT】(入力変数)

名称(和文)	変数名	データ型	初期値	有効範囲	説明
EN	EN	BOOL			1(ON): FB を起動する
					0(OFF): FB を起動しない
サーバ起動フラグ	Execute	BOOL			1(ON): Modbus TCP サーバ機能を起動する
					0(OFF): Modbus TCP サーバ機能を停止する
TCP ソケット No.	TcpSocketNo	INT	&1	&1~&3	&1: ソケット No.1 を利用する
					&2: ソケット No.2 を利用する
					&3: ソケット No.3 を利用する
自 TCP ポート No.	LocalTcpPortNo.	UINT	&502	&1~&65535	

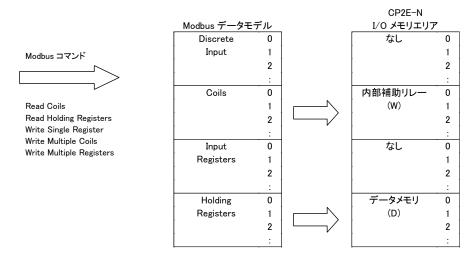
【OUTPUT】(出力変数)

名称(和文)	変数名	データ型	有効範囲	説明
ENO	ENO	BOOL	行列配四	1(ON):クライアントからの接続待ち、コネクション確立中
ENO	ENO	BOOL		
				0(OFF): サーバ機能停止中
TCP コネクション確	Established	BOOL		1(ON): TCP コネクション確立中
立中フラグ				0(OFF): コネクション未確立
TCP 異常フラグ	TCP_Error	BOOL		TCP 異常時 ON します。
				次の Modbus TCP コマンドを受信すると OFF します。
TCP 通信異常コー	TcpErrorCode	WORD		ソケットサービス異常時、TCP ソケットの終了コードを格納
۴				します。終了コードは「CP2E ユーザーズマニュアル ソフト
				ウェア編 15-5 ソケットサービス(SBCA-478)」を参照して
				ください。次の Modbus TCP コマンドを受信すると更新しま
				す。
受信カウンタ	RecvCounter	UINT		Modbus TCP クライアントからのコマンドを受信すると+1 し
ZIII.7777				ます。
接続先(クライアン	ClientIPAddr1	UINT		Modbus TCP クライアントの IP アドレスが格納されます。
ト)IP アドレス 1				「IP アドレス 1, IP アドレス 2, IP アドレス 3, IP アドレス 4」
接続先(クライアン	ClientIPAddr2	UINT		
ト)IP アドレス 2	Onomal / taurz	0		
接続先(クライアン	ClientIPAddr3	UINT		-
ト)IP アドレス 3	Olicital Addition	Olivi		
接続先(クライアン	ClientIPAddr4	UINT		
	GlienuPAddr4	OINT		
ト)IP アドレス 4	011			1
接続先(クライアン	CliantTcpPortNo	UINT		Modbus TCP クライアントのポート No.が格納されます。
ト)TCP ポート No.				

■動作仕様

Modbus には、以下 4 つの共通のデータモデルが定められています。 CP2E では、これらのデータモデルの各エリアを、I/O メモリエリアに割付けます。

Modbus データモデルの	データタイプ	読出/書込	CP2E-N
エリア			I/O メモリ割付先
Discrete input	ビット	読出	なし
Coils	ビット	読出/書込	内部補助リレー(W)
Input Registers	ワード(16 ビット)	読出	なし
Holding Registers	ワード(16 ビット)	読出/書込	データメモリ(D)



CP2E の固定割付エリア

CP2E-N における、Modbus データモデルと、CP2E の I/O メモリアドレスの関係は以下の通りです。

Modbus データモデルの エリア	Modbus アドレス	Modbus コマンドで 指定するアドレス	対応する CP2E-N の I/O メモリアドレス
Discrete input	_	_	-
Coils	1~2048	0~2047	W0.00~W127.15
Input Registers	_	_	-
Holding Registers	1~15000	0~14999	D0~D14999

*: Modbus データモデルにおけるアドレスは 1 から始まります。実際に Modbus コマンド上で指定するアドレス、および割り付ける CP2E CPU ユニットのアドレスは 0 から始まります。アプリケーションを作成するときは、上記の表を参照してください。

サポートコマンドー

711 1 7 7 5		
ファンクションコード	コマンド名称	機能
01 Hex	Read Coils	内部補助リレー(W)の複数接点読出
03 Hex	Read Holding Registers	データメモリ(D)の複数チャネル読出
06 Hex	Write Single Register	データメモリ(D)のチャネル書込
0F Hex	Write Multiple Coils	内部補助リレー(W)の複数接点書込
10Hex	Write Multiple Registers	データメモリ(D)の複数チャネル書込

■コマンドレスポンス詳細

・ファンクション 01 Read Coils:内部補助リレー(W)の複数接点読出

コマンド

フィールド名	データ長	データ
FUNCTION コード	1 バイト	01 Hex
コイル開始アドレス	2 バイト	0∼07FF Hex
		(0~2047:W0.00~W127.15)
コイル数	2 バイト	1~07D0 Hex
		(1~2000)

^{*:}コイル開始アドレス+コイル数が 2048 を超えないようにしてください。

レスポンス

フィールド名	データ長	データ
FUNCTION コード	1 バイト	01 Hex
データバイト数	1 バイト	N *
·		
コイルデータ	nバイト	n=N または N+1
	•••	

^{*:}N = コイル数/8、コイル数/8 に余りが有る場合は N = N+1。

例:W104~W2.07 までの 20 ビットを読み出す場合

コマンド (Modbus クライアント)

コマンド(Wodbus ブブイナンド)	
フィールド名	データ
FUNCTION I—F	01 Hex
コイル開始アドレス(上位)	00 Hex
コイル開始アドレス(下位)	14 Hex
	(20 ビット目 W1.04~)
コイル数(上位)	00 Hex
コイル数(下位)	14 Hex (14 ビット)
	(W1.04~W2.07)

フィールド名	データ
FUNCTION コード	01 Hex
データバイト数	02 Hex
コイルデータ 16~23	C0 Hex
	(W1.04~W1.11)
コイルデータ 24~31	34 Hex
	(W1.12~W2.03)
コイルデータ 32~39	0D Hex
	(W2.04~W2.07)

	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
W0CH	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
W1CH	31(0)	30(1)	29(0)	28(0)	27(1)	26(1)	25(0)	24(0)	23(0)	22(0)	21(0)	20(0)	19	18	17	16
W2CH	47	46	45	44	43	42	41	40	39(1)	38(1)	37(0)	36(1)	35(0)	34(0)	33(1)	32(1)
W3CH	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48

^{*:}数字はコイルアドレス、()内の数字はコイル状態を表しています。

・ファンクション 03 Read Holding Registers: データメモリ(D)の複数チャネル読出

コマンド

フィールド名	データ長	データ
FUNCTION コード	1 バイト	03 Hex
レジスタ開始アドレス	2 バイト	0~3A97 Hex
		(D0~D14999)
レジスタ数	2 バイト	1~007D Hex
		(1~125)

^{*:}レジスタ開始アドレス+レジスタ数が 15001 を超えないようにしてください。

レスポンス

フィールド名	データ長	データ
FUNCTION コード	1 バイト	01 Hex
データバイト数	1 バイト	2×N(N:レジスタ数)
レジスタ読出データ	2×Nバイト	

例:D1000~D1002 までの 3CH を読み出す場合

コマンド (Modbus クライアント)

フィールド名	データ
FUNCTION I—F	03 Hex
レジスタ開始アドレス(上位)	03 Hex
レジスタ開始アドレス(下位)	E8 Hex
	(D1000~)
レジスタ数(上位)	00 Hex
レジスタ数(下位)	03 Hex (3CH)
	(D1000~D1002)

フィールド名	データ
FUNCTION コード	03 Hex
データバイト数	06 Hex
レジスタデータ(上位)	AB Hex
	(D1000 上位)
レジスタデータ(下位)	12 Hex
	(D1000 下位)
レジスタデータ(上位)	56 Hex
	(D1001 上位)
レジスタデータ(下位)	78 Hex
	(D1001 下位)
レジスタデータ(上位)	97 Hex
	(D1002 上位)
レジスタデータ(下位)	13 Hex
	(D1002 下位)

	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
D1000		,	4		В			1			2					
D1001			5			6			7				8			
D1002			9		7			1			3					

・ファンクション 06 Write Single Register:データメモリ(D)のチャネル書込

コマンド

フィールド名	データ長	データ
FUNCTION I—F	1 バイト	06 Hex
レジスタアドレス	2 バイト	0~3A97 Hex
		(D0~D14999)
レジスタ書込データ	2 バイト	0000∼FFFF Hex

レスポンス

フィールド名	データ長	データ
FUNCTION コード	1 バイト	06 Hex
レジスタアドレス	2 バイト	0~3A97 Hex
		(D0~D14999)
レジスタ書込データ	2 バイト	0000∼FFFF Hex

例: D2000 に 3AC5 Hex を書込む場合

コマンド (Modbus クライアント)

フィールド名	データ					
FUNCTION ⊐—F	06 Hex					
レジスタアドレス(上位)	07 Hex					
レジスタアドレス(下位)	D0 Hex (D2000)					
レジスタ数(上位)	3A Hex					
レジスタ数(下位)	C5 Hex					

フィールド名	データ
FUNCTION コード	06 Hex
レジスタアドレス(上位)	07 Hex
レジスタアドレス(下位)	D0 Hex
	(D2000)
レジスタ数(上位)	3A Hex
	(D2000 上位)
レジスタ数(下位)	C5 Hex
	(D2000 下位)

	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
D2000		3	}			P	١			C)			í	5	
D2001																

・ファンクション 0F Write Multiple Coils:内部補助リレー(W)の複数接点書込

コマンド

フィールド名	データ長	データ
FUNCTION コード	1 バイト	0F Hex
コイル開始アドレス	2 バイト	0∼07FF Hex
		(0~2047:W0.00~W127.15)
コイル数	2 バイト	1~07B0 Hex
		(1~1968)
バイト数	1 バイト	コイル数/8 の余りが 0 の場合、N
		余りが 0 でない場合、N+1
コイルデータ	N バイトまたは N+1 バイト	

^{*:}コイル開始アドレス+コイル数が 2048 を超えないようにしてください。

レスポンス

-		
フィールド名	データ長	データ
FUNCTION コード	1 バイト	0F Hex
コイル開始アドレス	2 バイト	0∼7FF Hex
		(0~2047:W0.00~W127.15)
コイル数	2 バイト	1~07B0 Hex
		(1~1968)

例:W1.00~W1.11 までの 12 ビットを書込む場合

コマンド (Modbus クライアント)

フィールド名	データ
FUNCTION ⊐—ド	0F Hex
コイル開始アドレス(上位)	00 Hex
コイル開始アドレス(下位)	10 Hex (16 ビット目 W1.00~)
コイル数(上位)	00 Hex
コイル数(下位)	0C Hex (20 ビット) (W1.00~W1.11)
バイト数	2 Hex
コイルデータ 16~23	A2 Hex
コイルデータ 24~27	0C Hex

フィールド名	データ
FUNCTION I—F	0F Hex
コイル開始アドレス(上位)	00 Hex
コイル開始アドレス(下位)	10 Hex
コイル数(上位)	00 Hex
コイル数(下位)	0C Hex

	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
W0CH	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
W1CH	31	30	29	28	27(1)	26(1)	25(0)	24(0)	23(1)	22(0)	21(1)	20(0)	19(0)	18(0)	17(1)	16(0)
W2CH	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32
W3CH	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48

^{*:}数字はコイルアドレス、()内の数字は書き込むコイル状態を表しています。 コイルデータの未使用ビットは"0"にしてください。

・ファンクション 10 Write Multiple Registers:データメモリ(D)の複数チャネル書込

コマンド

フィールド名	データ長	データ
FUNCTION ⊐—F	1 バイト	10 Hex
レジスタ開始アドレス	2 バイト	0~3A97 Hex
		(D0~D14999)
レジスタ数	2 バイト	1~007B Hex
		(1~123)
バイト数	1 バイト	2×N(N:レジスタ数)
レジスタ書込データ	2×Nバイト	

^{*:}レジスタ開始アドレス+レジスタ数が 15001 を超えないようにしてください。

レスポンス

フィールド名	データ長	データ
FUNCTION コード	1 バイト	10 Hex
レジスタ開始アドレス	2 バイト	0~3A97 Hex
		(D0~D14999)
レジスタ数	2 バイト	1~007B Hex
		(1∼123)

例:D1000~D1001 までの 2 ワード(3AC5 Hex、9713 Hex)を書込む場合

コマンド (Modbus クライアント)

コマント(Modbus クライアント)	
フィールド名	データ
FUNCTION I—F	10 Hex
レジスタ開始アドレス(上位)	03 Hex
レジスタ開始アドレス(下位)	E8 Hex
	(D1000)
レジスタ数(上位)	00 Hex
レジスタ数(下位)	02 Hex
	(2 ワード)
バイト数	04 Hex
レジスタ数(上位)	3A Hex
レジスタ数(下位)	C5 Hex
レジスタ数(上位)	97 Hex
レジスタ数(下位)	13 Hex

フィールド名	データ
FUNCTION I—F	10 Hex
レジスタ開始アドレス(上位)	03 Hex
レジスタ開始アドレス(下位)	E8 Hex
レジスタ数(上位)	00 Hex
レジスタ数(下位)	02 Hex

	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	
D1000	3			А			С			5							
D1001	9		7			1			3								

·Modbus コマンド異常時のレスポンス

レスポンス

フィールド名	データ長	データ
FUNCTION ⊐ード	1 バイト	FUNCTION コード+80 Hex
		例:Write Single Register (06 Hex)の場合は
		86 Hex
例外コード	1 バイト	下記参照

例外コード

例外コード	異常名称	内容
01 Hex	FUNCTION コード不正	・サポートしていない FUNCTION コードが指 定されている
02 Hex	データアドレス不正	・指定した開始アドレスに誤りがある・指定した開始アドレスとデータ長が有効範囲を超えている
03 Hex	データ不正	・データ数とデータ長が一致しない

■バージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容			
1.00	2019.11	新規作成			

■お願い

本書はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットやコンポの使用上の制限事項、組み合わせによる制約事項などについては記載されていません。ご使用にあたりましては、必ず製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。